

質問項目

設問1：毎時間の授業や単元(内容のまとめ)のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習した事を振り返ったりする機会がある

設問2：単元(内容のまとめ)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある

設問3：単元(内容のまとめ)の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある

設問4：授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた

設問5：他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた

設問6：授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた

設問7：授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた

評価4:かなり当てはまる

評価3:ほぼ当てはまる

評価2:あまり当てはまらない

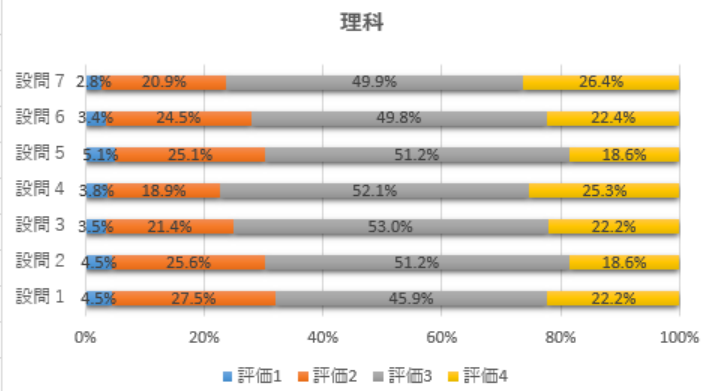
評価1:ほとんど当てはまらない

第1回授業評価 結果と改善方針（総合評価）

どの科目も評価平均がおおむね3前後と、あまりに低評価のものはないが、同時に高評価のものもない。この生徒による授業評価が何のためにあるのか、単なる顧客満足度調査ではない。授業改善のためにほかならない。個々の職員がそれを真摯に受け止め、自らの授業の評価を上げていくためにすべきことはいくらでもある。「指導と評価の一体化」については、どこまでできたら高評価となるか、本格的にルーブリックを活用すべきである。また、「ICTの活用」については、そのスキルの差はあるもののスライド作成・投影により授業を見える化することは決して難しいことではない。BYODやiPadの活用により、その先も見えてくる。ICTの敷居が高ければKP法（紙芝居プレゼンテーション）などから始めてはどうか、紙とボス力を持たせることで考えざるをえない状況に身を置くのである。さらに、授業のはじめに本時の授業のねらいや目標、身につけたい力を示し、授業終わりに振り返りを行い「メタ認知」力を高めることなどである。いずれにしても生徒の潜在力を引き出し、さらに力をつける。それが私たち教員の使命である。

	平均	① 結果の分析・課題の整理	② 改善の方針・今後の取り組み
国語	<p style="text-align: center;">国語</p> <p style="text-align: center;">3.0 2.9 3.0 2.9 3.0 3.0 2.8</p>	<p>各項目の評価平均は2.8～3.0で、おおむね良好である。「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」と評価した生徒が、「授業の在り方について」の3項目では71～78%、「学習の状況について」の4項目では75～78%であることから、各授業者の設定した学習の目標や方法等を多くの生徒が理解し、授業に積極的に取り組んでいると考えられる。</p> <p>しかし、全体の20%強の生徒には学習の目標や授業者の意図が伝わらず、国語の学習に意欲をもてない状況が続いている可能性がある。特に、「はじめにねらいを示したり、学習後に振り返り機会がある」と「他者の考えを知る」という項目について「2あまり当てはまらない」「1ほとんど当てはまらない」と評価した生徒が22～29%であり、これらが今後の課題である。「他者の考えを知る」という項目の評価については、昨年度から続く感染症対策による影響が考えられる。（話し合い活動の制限など）</p> <p>また、どの項目においても「1ほとんど当てはまらない」と評価する生徒が4～5%（1クラス2人程度）おり、これらの生徒にどのように対応していくかも課題の一つである。</p>	<p>”はじめにねらいを示したり、学習後に振り返り機会”を設けることを心がける。また、感染症対策を十分に行った上で”他者の考えを知る”機会を増やしていく。（コメントをシートにまとめるなど）</p> <p>また、生徒の主体的に取り組む力や思考力・表現力を伸ばすための授業の工夫（方法や課題など）を継続する。真面目に取り組む生徒の中にも「言われたことだけやる」受け身の姿勢の者が少なからずいるため、一人一人にできるだけ具体的な指導をしていくことが必要と考える。また、意欲を持っていない生徒に対しても細かく観察し、授業の目的や注意点を繰り返して伝えて理解させるなど適切な助言を心がける。</p>
地歴公民	<p style="text-align: center;">地歴・公民</p> <p style="text-align: center;">3.0 2.9 2.9 2.9 2.9 2.9 2.9</p>	<p>各質問項目について「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」が全体の約70%程度、また評価平均が2.7～3.1となっている。ここから、教員が設定した学習の目標や授業の進め方について多くの生徒が理解しながら授業に取り組み、その結果、ある程度納得のいく成果を得ているものと考えられる。</p> <p>学年にもよるが、「毎時間の授業や単元のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習の後に学習した事を振り返ったりする機会がある」という項目で評価が2.7と低いものがあった。</p> <p>一方で、「授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた」という項目は比較的どの学年でも高く、地理歴史公民の科目をまたいで学習を内面化していると考えられる。</p> <p>約5%の生徒が「1ほとんど当てはまらない」と回答していて、授業に関心をもてず、積極的に取り組むことができていない状況にあると考えられる。</p>	<p>「学習のねらい」や「振り返り」を今まで以上に意識し、授業のはじめには板書やプリントへの記入で授業の目標を明確にする、授業の終わりには各時間の振り返りをおこなう、この2点を盛り込んだ授業計画を作成する。</p> <p>また、関心をもてない生徒には、生徒の現状を把握しながら個別のアプローチを続ける。</p> <p>「それまでに学んだことと関連付けて理解する」ということにおいては、教科や単元のつながりを意識し、テーマや授業計画を設定することでより良いものにしていく。</p>
数学	<p style="text-align: center;">数学</p> <p style="text-align: center;">3.1 3.0 2.9 3.1 3.0 3.0 3.0</p>	<p>例年通り、各質問項目において、「3ほぼ当てはまる」「4かなり当てはまる」の回答が7、8割を占めているという結果になった。その中でも質問項目1、2、5、6においては「2あまり当てはまらない」「1まったく当てはまらない」の回答が、他の質問項目と比べて多い。これらを踏まえると、授業内で学んだことに対しては充実感をもっている一方で、その学習した内容を他者に紹介することや、次の授業に繋ぐことが課題であると考えられる。</p>	<p>ICT機器の活用など、授業の中に新しい試みを取り入れ、生徒が自分の考えをまとめ、発信させることができる機会を増やしていく。</p>

理科

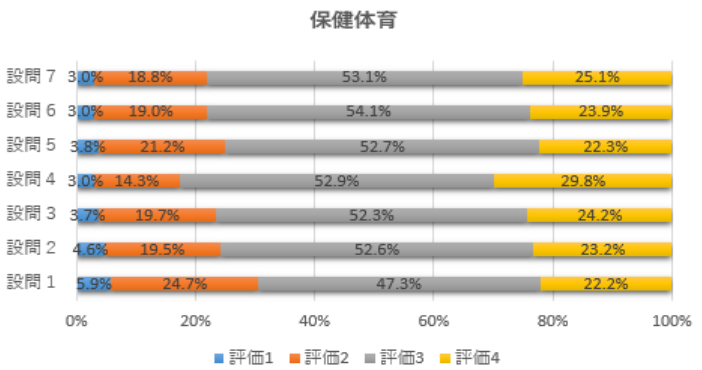


3.0
2.9
2.8
3.0
2.9
2.8
2.9

小項目4の「授業の中で身についたことや、できるようになったことを実感することができた」と小項目7の「授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた」の2項目で、全学年の評価平均が3.0と一番高く、学習の振り返りや過去の既習事項との関連付けが授業内でしっかりできていることがわかる。
小項目2の「単元の学習の中で、他者の考えを知り、自ら考えを広げ深める機会がある」と小項目5の「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を広げ深めることができた」の2項目で、全学年の評価平均が2.8と一番低く、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、グループワークやペア学習など生徒同士で話し合い、意見交換の時間を取るのが難しくなると考えられる。

今後は、感染拡大に留意しつつ、ICTなどを活用し、意見交換などの時間を設定し生徒同士が教え合う事や自分の考えを伝える場面を作る。
また、生徒同士の意見交換だけでなく、生徒の発言を生かして新たな考え方を伝える場面を作る。
平均評価が2.9と授業に対して改善を求めている生徒は少ないと考えられるので大きくは改善せずに取り組んでいく。一方で評価を1としている生徒もいるため、授業中の様子を見て、適宜改善をしたり、個への指導を充実させていく。

保健体育

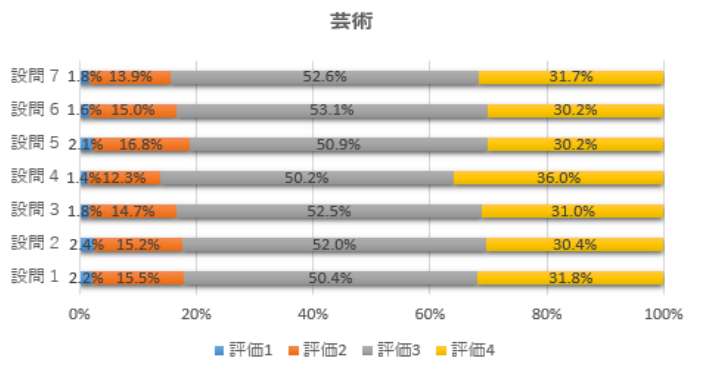


3.0
3.0
2.9
3.1
3.0
2.9
2.9

各項目の評価平均は2.9～3.1で、おおむね良好であり、「4 かなり当てはまる」「3 ほぼ当てはまる」と評価した生徒が多かった。
特に、「授業の中で身についたことや、できるようになったことを実感することができた」の項目で、「4 かなり当てはまる」「3 ほぼ当てはまる」の評価をした生徒が83%であることから、授業の中で課題をみつけ解決できていると考える。
しかし、「毎時間の授業の中で、単元のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習した事を振り返ったりする機会がある。」の項目では、「2 あまり当てはまらない」「1 ほとんど当てはまらない」と評価した生徒が31%いたので、その日の授業のねらいや学習の振り返りを生徒に認識させることが、今後の課題である。

毎時間の授業の中で、単元のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習した事を振り返ったりする機会を設けることを心がける。また、自らの考えだけでなく、他者との意見交換等ができる時間を設け、自らの考えを深められるようにする。
また、生徒の主体的に取り組む力や思考力・判断力・表現力を伸ばすための授業の工夫を継続する。

芸術

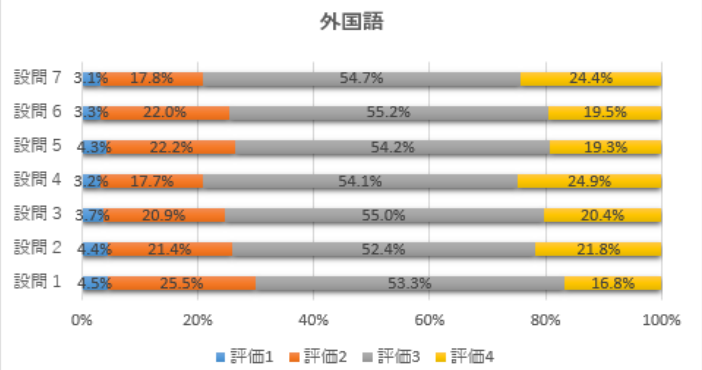


3.1
3.1
3.1
3.2
3.1
3.1
3.1

全項目とも、評価平均は3.1～3.2であり、バランスの取れた評価結果であった。また、すべての項目において、「3」以上の評価が80%を超えている。
特に、小項目の「授業の中で身についたことや、できるようになったことを実感することができた」の評価は高く、作品制作や演奏活動といった実技を主体とする教科にとっては、大変有意義な学習活動につながっているようだ。
また、基礎から応用へと段階的に学習を積み重ねることで、生徒の理解、さらには「できる」という実感に結びついている。

今後とも、基礎能力の定着と併せて、個々の生徒の持ち味や表現の特性を大切に、きめ細かい指導を行う。指導のうえでは、制作や演奏活動の途中段階での発問や、鑑賞や振り返りを通して、自身の活動に対する考えを深められるように工夫する。

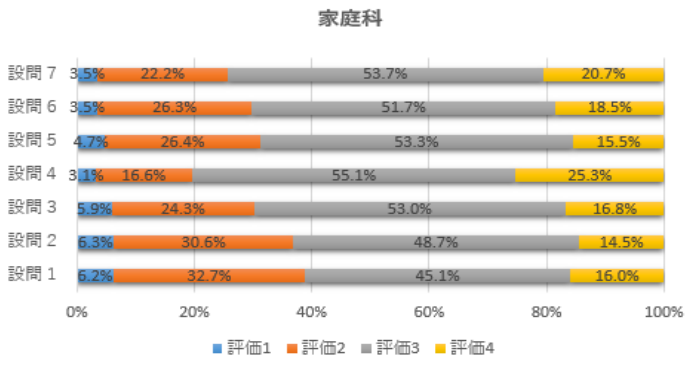
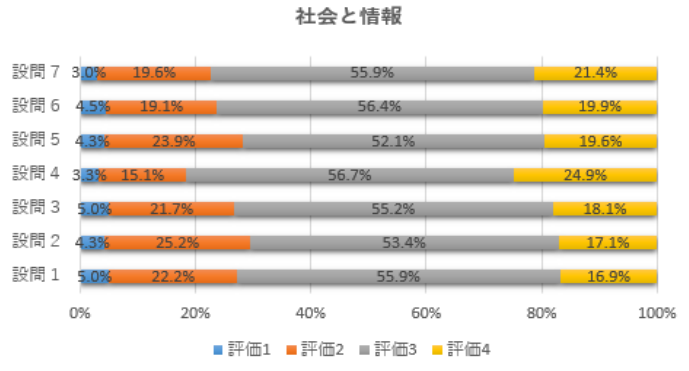
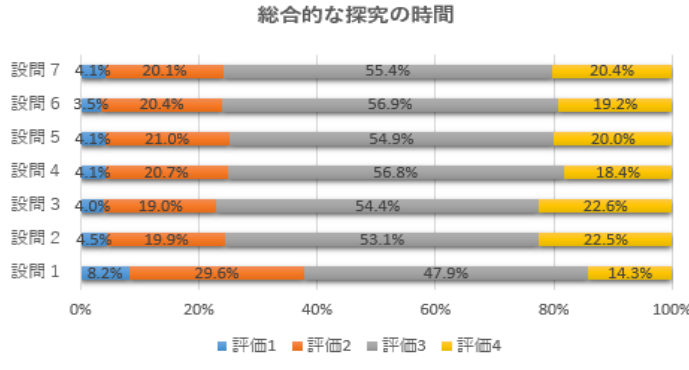
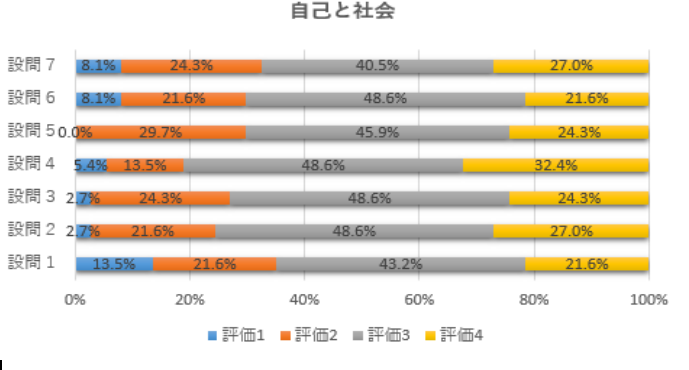
英語



3.0
2.9
2.9
3.0
2.9
2.9
2.8

「授業の在り方について」の評価平均では3年生は3.0と、概ね良好である。一方1年生は2.8、2年生は2.9とやや厳しめの評価になった。各学年とも、感染症対策のため、ペアワークやグループワークの実施が難しく、「他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会」が減っていることが影響した。
「学習の状況について」の評価平均についても3年生は3.0と、概ね良好であった。
2、3年生の選択科目は問題演習や入試対策的な科目が多く、生徒の発表の機会が限定される傾向もある。よって、項目5「他者の考えを知ることにより、新たな考えを知るなど、自らの考えを広げ深めることが出来た」には厳しい評価が付く傾向にあると考えられる。

感染症対策をしながら、「他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会」を増やしていく方法を模索していきたい。生徒の発表方法の工夫や改良などを目指したい。
必修科目だけでなく選択科目についても生徒の発言や発表の方法を工夫していきたい。

<p>家庭科</p>  <p>設問7 3.5% 22.2% 53.7% 20.7%</p> <p>設問6 3.5% 26.3% 51.7% 18.5%</p> <p>設問5 4.7% 26.4% 53.3% 15.5%</p> <p>設問4 3.1% 16.6% 55.1% 25.3%</p> <p>設問3 5.9% 24.3% 53.0% 16.8%</p> <p>設問2 6.3% 30.6% 48.7% 14.5%</p> <p>設問1 6.2% 32.7% 45.1% 16.0%</p> <p>■ 評価1 ■ 評価2 ■ 評価3 ■ 評価4</p>	<p>2.9</p> <p>2.9</p> <p>2.8</p> <p>3.0</p> <p>2.8</p> <p>2.7</p> <p>2.7</p> <p>授業の在り方について評価が低い。学習のねらいを示したり、振り返ったりする機会が少ないと感じていることがわかった。また、他者の考えを知り、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深める機会についても課題がある。1学期の後半は1年は消費経済、2年は被服実習であったため、難しいと感じる生徒が多かったと考えられる。家庭科では自らの考え方を深め、課題解決する学習を重視しているが、単元によってはこの部分がうまく機能していない。</p>	<p>毎時間、学習のねらいを示したり、振り返りする時間を確保する。また、生徒の意見の発表の時間も確保していきたい。生徒が課題が解決されたという達成感が得られるように、単元によっては深入りを避けて難易度を下げることが検討する。</p>
<p>社会と情報</p>  <p>設問7 3.0% 19.6% 55.9% 21.4%</p> <p>設問6 4.5% 19.1% 56.4% 19.9%</p> <p>設問5 4.3% 23.9% 52.1% 19.6%</p> <p>設問4 3.3% 15.1% 56.7% 24.9%</p> <p>設問3 5.0% 21.7% 55.2% 18.1%</p> <p>設問2 4.3% 25.2% 53.4% 17.1%</p> <p>設問1 5.0% 22.2% 55.9% 16.9%</p> <p>■ 評価1 ■ 評価2 ■ 評価3 ■ 評価4</p>	<p>3.0</p> <p>2.9</p> <p>2.9</p> <p>3.0</p> <p>2.9</p> <p>2.8</p> <p>2.8</p> <p>1学期のPC実習(PowerPoint)が予定よりも長期化し、座学授業の自らがんを圧迫したため、座学の進行速度が上がってしまった結果が出ていると思われる。また、コミュニケーションゲームが行えなかったため、授業の一体感が出せなかったことも一因である。</p>	<p>2学期もPC実習(Excel)が行われるが、他の講座を圧迫しないように注意をしてスケジュール立案をしたい。座学においては法律関連の授業が進行するため、できる限り身近な題材を揃えて理解を進めたい。</p>
<p>総合的な探究の時間</p>  <p>設問7 4.1% 20.1% 55.4% 20.4%</p> <p>設問6 3.5% 20.4% 56.9% 19.2%</p> <p>設問5 4.1% 21.0% 54.9% 20.0%</p> <p>設問4 4.1% 20.7% 56.8% 18.4%</p> <p>設問3 4.0% 19.0% 54.4% 22.6%</p> <p>設問2 4.5% 19.9% 53.1% 22.5%</p> <p>設問1 8.2% 29.6% 47.9% 14.3%</p> <p>■ 評価1 ■ 評価2 ■ 評価3 ■ 評価4</p>	<p>2.9</p> <p>2.9</p> <p>2.9</p> <p>2.9</p> <p>3.0</p> <p>2.9</p> <p>2.7</p> <p>課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある、という項目については評価平均が3.0となっており、総合という科目のねらいについてある程度、達成できていると考えることができる。一方で、毎時間の授業や単元のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習の後に学習した事を振り返ったりする機会があるという項目については2.7と他の項目よりも評価平均が低く、何を目的としているのか、わからず取り組んでいる生徒が一定数いると考えられる。</p>	<p>①担当する教員による差異がないよう、実施前の共通理解を得て取り組みを行う。</p> <p>②その際、毎回の授業のめあてや目的意識を説明し何のために学習をするのか明確にする。</p> <p>③課題解決学習という方向性は保持しつつ、生徒に提示する課題をより明確に指示が通りやすいように工夫をおこなっていく。</p>
<p>進路実践(自己と社会I)</p>  <p>設問7 8.1% 24.3% 40.5% 27.0%</p> <p>設問6 8.1% 21.6% 48.6% 21.6%</p> <p>設問5 0.0% 29.7% 45.9% 24.3%</p> <p>設問4 5.4% 13.5% 48.6% 32.4%</p> <p>設問3 2.7% 24.3% 48.6% 24.3%</p> <p>設問2 2.7% 21.6% 48.6% 27.0%</p> <p>設問1 13.5% 21.6% 43.2% 21.6%</p> <p>■ 評価1 ■ 評価2 ■ 評価3 ■ 評価4</p>	<p>2.9</p> <p>2.8</p> <p>2.9</p> <p>3.1</p> <p>2.9</p> <p>3.0</p> <p>2.7</p> <p>各項目の評価平均は2.6～3.1で、おおむね良好であったが評価にはばらつきがあり個々の能力により評価に差ができていていると感じる。毎時間の授業のはじめに単元のねらいを話すことは注意していたと思うが評価平均は2.7と低い数値となっているので、工夫が必要だと考えられる。授業の中でできるようになったと実感できたと思う生徒が評価平均3.1と高くなっているが「1」「2」の評価を付けている生徒もいるので個別に支援を行っていく必要のある生徒がいると考えられる。</p>	<p>連携生ということで個々の能力に差があるのでそれぞれに合わせた支援を行い授業改善をして評価で「1」「2」が少なるようにしていきたい。</p> <p>また、毎時間の授業や単元のはじめに学習のねらいを確認する場面では口頭ではなく、プリントや黒板などを使い視覚的に支援を行うことで改善を行っていきたい。</p>